

未来をひらく 思いをつたえる

# Hirakû

37



★アカデミー西宮校開校

★保護者アンケート結果発表

★保育士カナダ研修

★Voices of Tomorrow Speech Contest





## アカデミー西宮校が開校！

2025年1月、キンダーキッズインターナショナルアカデミー西宮校が兵庫エリアで初めてのアカデミー校として無事に開校しました。オープン初日から元気な子どもたちの笑顔があふれ、自然豊かな環境と最先端の教育設備が整った西宮校で、新しいお友達や親しみやすい先生たちと楽しい毎日がスタートしてい

ます。通園の利便性にも配慮し、主要エリアをカバーする送迎バスを運行しており、保護者の皆様にも安心して通わせていただける環境を整えています。



NISHINOMIYA  
SCHOOL



OPEN!



## ダイナミックな園庭で自然と触れ合う

当学校の園庭には、手押しポンプでくみ上げた水を砂場に流して思い切り泥んこ遊びができるスペースがあります。子どもたちは、水と砂で小さな川や池を作ったり、泥の感触を楽しんだりしながら、自然と触れ合い、遊びの中で創造力を伸ばすことができます。こうした遊びを通じて、五感が刺激され、自分たちで工夫する力や自然とのつながりを感じる大切な時間を過ごします。

また、屋上園庭には全面に人工芝が敷かれ、大型遊具が設置されています。子どもたちは安心して走り回ったり遊具で体を動かしたりしながら、広々とした空間で思い切り遊ぶことができます。地上と屋上の「ダブル園庭」での多彩な体験が、子どもたちの健やかな成長をしっかりとサポートします。



## シアタールームで広がる学びの可能性

当スクールでは、最新のICT教育機器を導入し、子どもたちが未来を見据えた学びを体験できる環境を整えています。シアタールームでは、プロジェクションマッピングを使い壁面に映像を映し出し、まるで映像の世界に入り込むような体験ができます。子どもたちは深海や宇宙、歴史をリアルに感じながら、興味や発見を通じて知識と創造力を育みます。



プロジェクションマッピングを活用した  
シアタールーム

### 施設長からのメッセージ



施設長  
高橋 真樹子

キンダーキッズアカデミー西宮校の開校にあたり、皆様からの温かいご支援により感謝申し上げます。子どもたちがここで心豊かに過ごし、無限の可能性を引き出していく姿を見守れることを、大変嬉しく思っております。

当スクールの園庭には、泥んこ池、ウッドデッキ、ガーデニングエリアなど、子どもたちが自由に遊びながら学びを深められる広い空間が広がっています。ウッドデッキでは、お日様の光を感じながら絵本を読むことで、室内とは異なるリラックした環境の中、想像力を育むことができます。また、ガーデニングエリアでは、

自分たちで育てた野菜を収穫し、それを使った料理を通じて、自然の恵みに感謝する貴重な体験を得ることができます。さらに、関西初となるシアタールームでは深海の神秘や宇宙の広がり、恐竜時代から未来の世界まで、時空を超える冒険のような体験を楽しむことができます。

こうした未知の世界への好奇心が、新たな驚きや発見を引き出します。

私たちは、子どもたち一人ひとりが自分らしさを大切にしながら成長できるよう、温かく見守り、全力でサポートしてまいります。ぜひ一度、園に足を運び、素晴らしい環境と子どもたちの笑顔をご覧ください。

西宮校HP



## 防災・文化・自然が調和する立地

当スクールはJR「西宮駅」から徒歩8分、阪急・阪神「今津駅」から徒歩9分という便利な立地に加え、近くには広々とした津門中央公園があります。この公園は子どもたちが遊べるだけでなく、防災公園としての機能も持ち、災害時には地域の避難拠点として活用される安心感も魅力です。また西宮神社では「十日戎」の賑わいや、室町時代に造園された蓬萊山水式庭園など、伝統文化や地域の歴史に触れる貴重な機会が得られます。



防災公園としての  
機能も併せ持つ  
津門中央公園







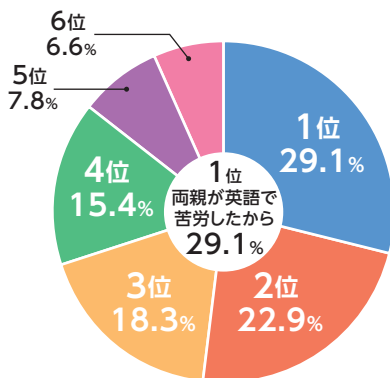
保護者の皆様の声を未来の力に

## キンダーキッズ アンケート結果発表

2024年10月から11月に実施された保護者アンケートでは、全園児4019名のうち2065名の皆さまから貴重なご意見をいただきました。本誌では、その結果の一部を抜粋してご紹介いたします。このアンケートを通じて見えてきた課題や可能性をもとに、キンダーキッズではさらなる保育・教育の向上に向けた取り組みを進めてまいります。



キンダーキッズに  
ご入園を決めた  
最も大きな理由

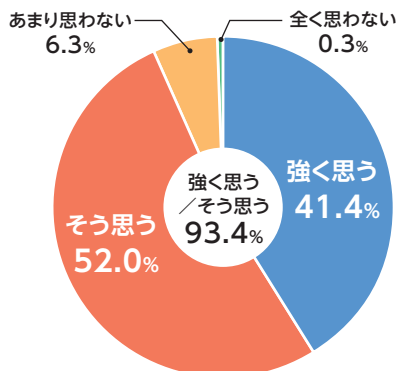


- 1位 ■ 両親が英語で苦労したから
- 2位 ■ 明るくのびのびと育つ環境があると思ったから
- 3位 ■ キンダーキッズの教育理念に共感したから
- 4位 ■ 英語ができると受験や小学校で有利だと思うから
- 5位 ■ 家から近いから
- 6位 ■ 在園生/卒園生の保護者の紹介を受けて

多くの保護者様が、自分たちが英語を学ぶ際に苦労した経験から、お子さまには早いうちから自然に英語に親しむ環境を与えたいとお考えになり、キンダーキッズへの入園をお決めになったようです。



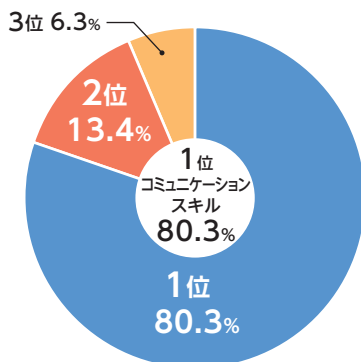
子どもは  
スクールに行くのを  
楽しみにしている



90%以上の保護者様が、お子さまはスクールに行くのを楽しみにしているとお考えです。



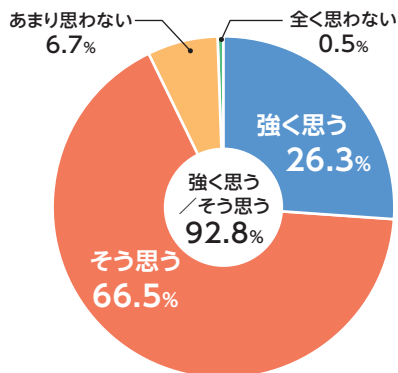
英語学習において  
最も重要なこと



- 1位 ■ コミュニケーションスキル
- 2位 ■ 綺麗な発音
- 3位 ■ 英語の読み書き能力

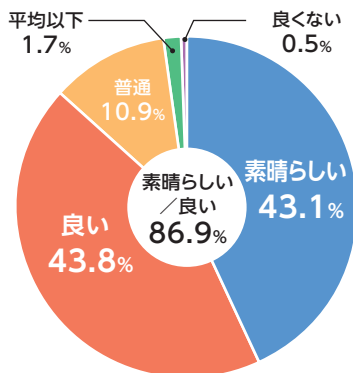
保護者の皆さまにとって、キンダーキッズでの英語教育において最も重要なのはコミュニケーション能力だと考えており、この傾向は毎年変わっていません。

## Q 遊びや生活を通じて社会性やルールなど人間関係を学ばせる指導がなされている



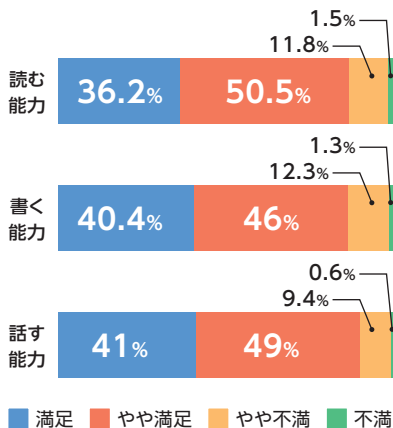
90%以上の保護者様が、遊びや生活を通じて社会性やルールなど人間関係を学ばせる指導がなされているとお考えです。

## Q 子どもが通う学校の先生の全体的な質は



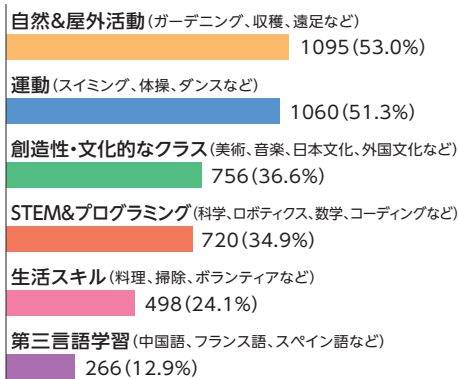
85%以上の保護者が、お子さまが通う学校先生の全体的な質は素晴らしい、もしくは良いとお考えです。

## Q お子さまの英語を読む能力、書く能力、話す能力の満足度



英語能力のすべてのカテゴリで満足度が大幅に改善され、現在ではコロナ前と同じ水準に達しています。コロナ期間中に一時的に低下したものの、満足度は強く回復しています。

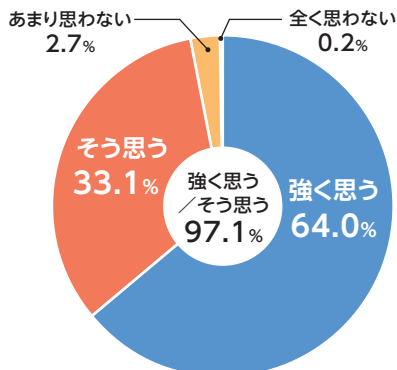
## Q 英語以外でキンダーキッズでもっと取り入れてほしいと思うもの



自然 & 屋外活動と、運動は保護者様がキンダーキッズに もっとと重点を置いてほしいと考えている主な2つの分野で、共に半数を超える方が、これらの分野をさらに取り入れて欲しいと望まれています。

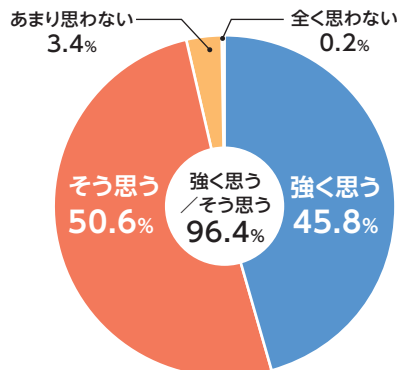
Q

子どもはクラス担任に  
親しみを覚えている



Q

私(保護者)は子どもの  
クラスの先生と  
良い関係を築いている

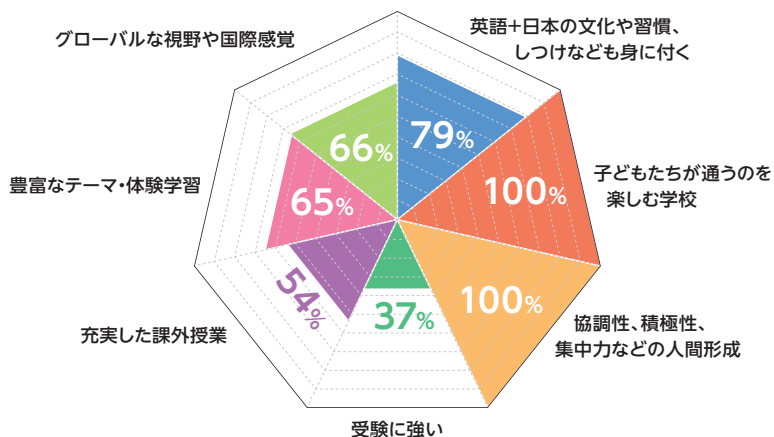


保護者様のほとんどが子どものクラス担任と良好な関係を築いているという回答結果と、子どもが先生に親しみを覚えているという回答が一致していることから、先生たちを高く評価しているといえます。

Q

キンダーキッズに期待すること  
VS. 子どもが身につけたこと

キンダーキッズに期待することと、子どもが身につけたことを質問しました。このグラフは、保護者様がキンダーキッズに期待することに対して子どもたちがどれくらいの割合で身につけたかを示しています。



例えば、「英語+日本の文化や習慣、しつけなども身に付く」ということがキンダーキッズの特徴だと感じている保護者様のうち、実際に子どもが身につけたと考えているのは79%ということになります。

保護者の皆様から  
いただいた  
嬉しいお声



アンケートでは、保護者の皆様からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。  
その中から代表的なコメントをご紹介します。

温かさと思いやりに  
満ちた先生たち

先生たちの温かさ、プロ意識、そして生徒に対する思いやりが伝わり、安心して子どもを任せられます

自信と成長を  
育むサポート

先生方のサポートのおかげで、  
子どもが自信を持つようになりました

スクールに通う喜びと  
学びへの意欲

通うことを楽しみにしており、英語や他のスキルが向上しているのを感じます

社会的スキルと  
自信の向上

社会的スキルが身につき、堂々と自分の考えを伝える力がついてきました

教育と楽しさを  
両立したカリキュラム

教育と楽しさがバランス良く取り入れられたカリキュラムに満足しています

..... アンケートから見た課題と今後の取り組み .....

カリキュラムや保育内容について多くの満足の声をいただいた一方で、スピーキング力向上の取り組みや施設内の整理整頓、清潔さの維持、正確かつ明確な情報伝達についてのご意見やご要望も寄せられました。

これらの貴重なご意見を真摯に受け止め、改善に向けた具体的なアクションプランを策定し、迅速に実行してまいります。今後も保護者の皆様との信頼関係をさらに深め、お子様にとって最良の環境を提供できるよう努力してまいります。



※詳しいアンケート結果や改善策については、  
キンダープラスに掲載しておりますので、  
ぜひご覧ください。



Kinder+



# 保育士カナダ研修

## Report

今年もキンダーキッズの保育士たちが  
カナダクラークソン校・オークビル校を訪れ、  
それぞれの視点から多くの学びや発見を得ました。  
異なる文化や教育環境に触れた経験は、  
保育士たちに新たな気づきと  
成長のきっかけをもたらしています。  
6名の保育士が現地で得た  
貴重な体験と感想をご紹介します。



### 【西宮北口校】岡本 明日香

研修期間：2024年9月5日～9月25日

英語が母国語の子どもたちへの指導方法やサークルタイムでの工夫に新たな気づきを得ました。また、「Question of the Day」というテーマを掲げることで、少人数のグループ内で自然にコミュニケーションを深める姿を通じ、ステーションラーニングの効果を実感しました。一方で、日本の子どもたちの高い生活習慣スキルや自立心が海外でも評価されていることを知り、日本の教育の良さも再認識しました。これらの経験を活かし、保育の質をさらに向上させたいと感じています。



### 【八尾校】山口 綾香

研修期間：2024年9月5日～9月25日

子どもたちが木登りに挑戦し、どの枝に進むべきかを話し合いながら協力している姿に感銘を受けました。外遊びでリスクを伴う活動に挑戦し、自主性や自信を育む姿が印象的でした。また、スペシャルニーズの子どもたちの特性を尊重し、具体的なサポートを提供する環境が整っており、参考にしたいと感じました。こうした学びを基に、子どもたち一人ひとりの成長を支える保育を実践し、園生活をさらに充実させていきたいと考えています。





## 【東京本校】岩神 碧

研修期間：2024年9月5日～9月25日

アレルギー対応や安全管理、そして子どもたちの自主性を重視した環境づくりが印象的でした。ステーションラーニングでは、少人数のグループで自然な会話を楽しみ、互いに教え合う姿が見られました。また、柔軟な活動計画を通じて子どもたち一人ひとりに合わせた学びを提供する姿勢にも感銘を受けました。マインドフルネスで深呼吸や心を落ち着ける習慣を学ぶ方法は、日本でも活用できると感じています。カナダの教育アプローチは、日本の保育環境に役立つヒントをたくさん得られました。



## 【天王寺夕陽丘校】石塚 美穂

研修期間：2024年9月26日～10月18日



多文化社会の中で育つ子どもたちへの包括的な支援に触れ、個々の特性やニーズに応じた保育の重要性を実感しました。スペシャルニーズの子どもたちが視覚支援カードや手作り道具を使い安心感や自信を育む姿や、リラクスペースを用意し、子どもたちが自分のペースで過ごせる環境が整えられている点にも学ぶところが多くありました。日本でも、こうした多様性を尊重し柔軟な保育環境を実現するために、今回の学びを活かしていきたいと思います。

## 【福岡校】山口 うらら

研修期間：2024年9月26日～10月18日

スタッフ全員が子どもたちのために工夫を凝らしながら働く姿が印象的で、それが子どもたちの落ち着いた様子や保護者からの信頼感につながっていると感じました。特に、毎朝のサークルタイムで、子どもたちが自分の意見を発表する場面は、日本との違いを強く実感しました。普段の保育で直面していた課題に対して、新たな視点と解決策を得ることができ、大きな収穫となりました。今後は、学んだ内容を自分のクラスで実践し、より良い園生活を提供できるよう努めます。



## 【品川校】菊池 茉桜

研修期間：2024年9月26日～10月18日

現地の子どもたちが主体的に学ぶ様子に感銘を受けました。特に、フォニックス活動で子どもたちが自ら単語を選び、それを使ったゲームに夢中になっていた場面が印象的でした。また、寮生活では全国の仲間たちと交流し、それぞれの学校の良さや保育の工夫について多くの情報を交換できたことが、大きな学びとなりました。週末には現地の観光地を訪れるなど、文化に触れる機会も多く充実した3週間でした。この経験は、今後の保育者としての成長にとって大きな財産になると感じています。



舞台は  
日本外国特派員  
協会！

# Voices of Tomorrow

## SPEECH CONTEST 2024



今年、「Voices of Tomorrow speech contest」という新たな名称を冠して、日本外国特派員協会（FCCJ）の格式ある会場で行われたスピーチコンテスト。同協会は、長い歴史を持ち、国内外の報道関係者が集う国際的な場として知られています。そんな特別な空間で、出場者たちはそれぞれの思いを英語で堂々と表現し、観客や審査員を魅了しました。6名の入賞者のうち Champion を含む4名を占めたグラッドクラブに通う生徒たちに、今大会での挑戦や成長、そして今後への意気込みを聞きました。



審査員と記念撮影する6名の受賞者

**Champion** (関西&関東)



（オリジナル部門：小学3年～6年生）

R.G.くん（京都校卒園・G5）

### 関西大会2連覇、関西&関東の2冠の偉業を達成！

これまで学校や塾の宿題をこなしながら、難しい単語を覚えたり、スピーチの練習を続けてきました。時には大変だと感じることもありましたが、努力を続けたことで、このような結果につながったのだと思います。両親から『外国人記者クラブはすごいところだよ！』と聞いていたので、この舞台に立てることにワクワクし、もっと頑張ろうと思いました。また、外部の参加者もいる中で、自分の力を試せる機会が特別に感じられました。

スピーチでは、私が参加している『ルワンダレスキュー隊』のボランティア活動をテーマに、困っている人を助けることの大切さを伝えました。

オーディエンスに思いが伝わるよう、一つひとつの言葉に気持ちを込めて発表しました。次回もチャンピオンを取れるように頑張りたいです。そして、妹にもぜひ入賞してほしいと思います。今年は中学受験のためオーストラリア研修に行けませんが、来年は妹と一緒に参加して、さらに英語力を伸ばしたいです。

お母様より



これまで息子は関西大会に毎年出場し、グランプリや部門賞を頂いてきましたが、今回の『Voices of Tomorrow speech contest』は特別な舞台でした。義父が記者クラブのメンバーだったことから、『中に入ることささ難い場所』と聞いており、その格式ある会場でスピーチをする息子の姿を見て、感動で胸がいっぱいになりました。審査員の方々も素晴らしい経験をお持ちで、このような貴重な経験をさせていただけたことに感謝しています。準備期間中、息子は自分で工夫しながら練習を重ねるだけでなく、スピーチ後には入賞を逃した妹に『Rのスピーチ良かったよ！』と声をかけていました。

その姿に少し兄らしく成長したと感じました。この経験を通じて、息子はさらに人前で話すことが好きになり、自信もついたようです。これからもグラッドクラブで英語学習を続け、将来さまざまな場面で活躍してほしいと願っています。

Winner

《一般部門：小学3年～6年生》

K.H.くん（宝塚校卒園・G3）

## 関西大会のリベンジで見事トロフィー初獲得！

関西大会の後も関東大会まで一所懸命練習を続け、念願のトロフィーをもらえたので本当に嬉しかったです。会場のFCCJは“日本の中心地”のような場所で驚きましたが、貴重な経験ができました。課題『There Was an Old Lady Who Swallowed a Fly』を選んだのは、面白そうで覚えやすいと思ったからです。発表では“swallow”の発音を丁寧に心がけ、最後におばあさんが死んでしまうシーンでは、自分も倒れる振り付けを考えました。次はチャンピオンを目指して頑張ります！

お母様より



日本外国特派員協会という報道の長い歴史ある会場で挑戦できたことを光栄に思いました。息子が『Voices of Tomorrow』の舞台で楽しそうに発表している姿を見られ、安心しました。準備期間中は、聴いてくださる方に楽しんでもらえるよう伝え方を工夫し、Grad Chatの先生からもアドバイスをいただきながら頑張っていました。この経験を通じて『やればできる』という自信を持ったことが大きな成長だと感じています。今後は、気持ちを言葉にして相手に合った方法で伝える力をさらに鍛え、感謝の気持ちを忘れず成長してほしいと願っています。

Winner (関西&関東)

《オリジナル部門：小学1年～2年生》

A.Y.ちゃん（茨木彩都校卒園・G2）

## すぐに思い浮かんだ夢のテーマを堂々と発表！

関西大会に続き、関東大会でもWinnerを取れてとてもうれしいです。FCCJの舞台はステージが低く、観客席との距離が近かったので、緊張せずに練習通りに発表することができました。スピーチのテーマは、キンダーにいた頃からの夢『視力を回復する目薬を創ること』で、すぐに文章が思い浮かびました。発表では、観客にしっかり伝わるように周りを見て話すことを心がけました。さらに練習を重ね、次回の大会ではチャンピオンを取りたいです！

お母様より



「歴代の著名人も訪れる歴史ある場所で子どもたちが堂々とスピーチする姿に感動しました。出場者のレベルも高く、特別な大会だと感じました。関西大会では緊張してうまくスピーチができなかったと本人も悔しがっていたため、今回はいつも通りの力を出せるよう声掛けをしました。学級閉鎖が続く中、体調管理にも気を配りました。この経験を通じて、発音や文章の組み立てに工夫が見られ、精神面でも自分の主張を持つようになったと感じます。将来の夢は変わるかもしれませんが、やりたいことに思い切り挑戦できるよう、選択肢を増やしてあげたいと思っています。」

Winner (関西&関東)

《オリジナル部門：小学3年～6年生》

R.U.ちゃん（京都校卒園・G4）

## ロサンゼルスで見つけた夢を伝えた感動のスピーチ

FCCJという特別な会場で発表できたことは、とても光栄でした。スピーチのテーマは『My New Dream Found in Los Angeles』で、実際に訪れたロサンゼルスフレンドリーな雰囲気が大好きになり、その魅力を伝えたいと思いました。前半ではロサンゼルス楽しい雰囲気を、後半では深刻な問題について観客に考えてもらえるようにしました。声のトーンや表情、ボディランゲージを工夫し、気持ちを込めて発表しました。次回の大会ではさらに工夫を重ね、念願のチャンピオンを目指します。

お母様より



『Voices of Tomorrow』という特別な舞台で、いつも通り楽しそうにスピーチを表現する娘の姿を見て、心強く感じました。準備期間中はスピーチをまるで歌うように口ずさみ、楽しみながら練習している様子が印象的でした。また、家族が娘のスピーチを楽しみにしている雰囲気があり、それがモチベーションになったと思います。今回の経験を通じて、異なる環境でも普段通りの力を出せたことで、娘自身も自信を深めたのではないかと感じます。これからも学力や強い心を育てながら、新たな目標に挑戦してほしいと願っています。



表紙：クラフト“新年の神社と餅つき”

青空の下、大きな鳥居と絵馬が飾られた神社の前で、子どもたちが元気いっぱいに餅つきをしています。

絵馬には願いや夢が描かれ、新しい年の始まりを祝う温かい雰囲気広がっています。

日本の伝統行事を楽しんでいる子どもたちの笑顔と、力強く餅をつく姿が印象的です。

一人ひとりの思いが込められた絵馬とともに、新しい一年への希望と活力が感じられますね！

### アイデアを お待ちしております！

「Hiraku」では、英語・幼児教育の  
最新ニュースやトピックなど皆さまに  
役立つ情報をお届けいたします。

- ・最近気になっていること
- ・取り上げてほしい話題
- ・新しいコンテンツ etc...

皆さまからのご意見・ご要望を  
お待ちしております！

「Hiraku」編集部

TEL : 06-6135-0150

Mail : hiraku@kinderkids.ed.jp

Hiraku

2025年1月発行 Vol.37

次回3月末

発行予定

株式会社キンダーキッズ

TEL : 06-6135-0150

☎ 530-0033 大阪市北区池田町3-1

ぶらら天満ビル 2F

[www.kinderkids.com](http://www.kinderkids.com)